

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、3月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（渡辺利治委員長）

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案8件を全会一致で可決、議案1件を賛成多数で可決すべきものと決定しました。

☆所管事務調査

（調査事項）

財産に関する調査

（市有林の境界について）

曾於市が管理する市有林の面積は、979haである。財部地区の市有林は416haで、林道の整備、除間伐がよくなされ、副産物としてサカキが栽培され、高い評価を得ている。末吉地区は203haあり、広葉樹林も多く、国（国有林）と分収林契約をして、販売の7割が市の収益となるシステムである。大隅地区は359haあり、他に類を見ないものとして、イチイガシの単純一斉造林がある。林齢60年、立木200本と非常に価値のあるものとして、当分は残す方針である。

全ての市有林において、境

界はコンクリート柱で標示され、さらにビニールパイプで補助的に設置されていたが、市有林としての標示をすべきであるとの意見が出された。

今回の調査で、市の所有する立派な財産であることや、自然環境に与える山林の大切さ、災害防止に寄与する役割、また、その山林で仕事に従事する人々等のためにも、旧態依然の指導法を改め、関係団体と協議し、年次計画を作成すべきであるとの意見の一致をみた。

☆曾於市やまびこ館の設置及び管理に関する条例の制定について

問 事故が発生した時の市とJRの取り決めはあるのか。

答 事故については、ホーム内はJRで対応し、館内は市であるが、全国町村会総合賠

償補償保険で対応する。土地使用貸借契約もある。

☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）

問 防火水槽4t7基新設の単価はどうなっているか。

答 国で基準単価が示されている。

問 市の組織再編はどうなっているか。

答 計画以上の退職者増により単独補佐の原則禁止、施設

の管理運営は、民間委託か指定管理者制度を導入する。係

の統合も進める。

問 代替バス運行補助金はどのうなっているか。

答 補助率は県で定めてあり、限度50%である。

問 住宅分譲売払いの予定はどれくらいあるのか。

答 4地区に13区画が残っており、それぞれ1区画を計画している。

問 市のホームページへのアクセスはどれくらいか。

答 年間5万件くらいあり、常に新しい情報を提供するよう努めている。

問 市の債務負担件数と合計額はどれだけか。

答 129件で16億1,900万円である。

問 地方債償還分はどれくらいあり、繰上償還分は本年度何件あるか。

答 通常償還分783件と、繰上分19件で合計802件である。

問 4月からの入札制度はどのようになったか。

答 市のホームページに入札情報を開設し、誰でも見ることができ。条件付き一般競争入札の公告期間を2週間、入札参加申込受付期間を1週間と予定し、入札の執行は火曜日に行うため、毎週火曜日に情報を更新する。

問 大隅支所駐車場の白線引きと舗装計画は。

答 白線引きと舗装計画がある。

問 固定資産に係る土地の筆数は市全体でどれだけあるのか。

答 約22万筆ある。

問 税金収納対策はどうしているのか。

答 各課連携をとり、訪問、文書、専従職員等に対応している。

問 本年度の地籍図根点確認

点数と、分筆合筆作業数予定はいくらか。

答 図根点は大隅町坂元地区の136点であり、分筆合筆は市内全域158筆分を計画してある。

問 監査事務局職員が2年度より1名減となるが、チェック機能は大丈夫か。

答 行革で2名となつている。



大隅支所駐車場

意見 予算規模からみて監査対象が広がっている。本来の監査機能任務の希薄が懸念されるので慎重に執行するように。

問 議員の共済掛金はいくらかで先行きどうか。

答 報酬の16%であり、かなり高くなっている。合併により全国の議員も少なくなり、先行きが不安である。

文教厚生常任委員会（山田義盛委員長）

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案9件を全会一致で可決、議案6件を賛成多数で可決すべきものとし、陳情1件を不採択と決定しました。

☆平成19年度曾於市一般会計予算の補正について（第8号）（所管分）

問 自主文化事業収入が当初予算より270万円の減となっているが、その理由は何か。

答 入場者数の減のためであり、今後、市民に魅力ある事業

業内容を検討していきたい。

問 恒吉城跡保存整備事業は、市になつて積極的な取り組みがなされていないのではないか。

答 第一段階として、市の文化財保護委員会に諮問している。



校舎整備の進む末吉中学校

☆平成19年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算の補正について（第3号）

問 一般会計繰入金38万7千円の増額理由は何か。

答 財部町の42人槽の廃止届け分で国庫補助が対象外となった。今後、条例・規則等の見直しを検討したい。

☆曾於市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 平成20年度から特定健康診査等を行なうが、その対象者と健診保健指導の達成目標は。

答 対象者は40歳から74歳までの国保被保険者であり、目標は、健康診査受診率を現在の33%を40%に上げたい。特定保険指導実施率は平成20年度、35%を目標としている。

☆曾於市戸別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 受益者負担金は工事の入札価格が変わっても一緒か。

答 分担金は、条例で人槽区

分により定められているので入札価格により変わることはない。

☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）

問 曾於市クリーンセンター管理費の修繕費が約5,000万円とあるが、今後の施設改修計画費は。

答 施設の使用を後10年見込んでいます。今後の改修費は平成21年度が約5,615万円、平成22年度が約7,159万円、平成23年度が約8,264万円を計画している。

問 財部南、北保育所の存続についての考えは。

答 存続については未定である。園児が今後も減少していけば、施策として幼児学園、民間委託等も考えなければならぬ。

問 学校給食委託料9,160万円の業者選定は。

答 大新東ヒューマンサービス(株)で実績等から信頼性があると指名委員会判断し、随意契約とした。

☆平成20年度曾於市国民健康保険特別会計予算について

問 基金3億5千万円を取崩した理由は。

答 現行の医療分及び介護給付金に新たに後期高齢者支援分が加わり財源不足を生じた。

☆平成20年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算について

問 本年4月1日より後期高齢者医療制度が施行されるが、住民への説明会で十分理解を得られたと思うか。

答 高齢者学級他、校区ごと、自治会ごとに説明会を実施したが、十分とは言えない面もある。今後、民生委員やケアマネージャー等を通じ周知を図りたい。

☆平成20年度曾於市介護保険特別会計予算について

問 介護予防住宅改修費で984万円計上しているが、見込み件数の考えは。

答 平成19年度10月までの件数を参考とし、120件とした。

☆平成20年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算について

問 本事業は平成14年度から実施され、年々減少しており、19年度は約50基となっている。計画の100基を見直すべきではないか。

答 国に平成21年度までの地域再生計画を提出しており変更はできない。今後、浄化槽設置推進員の啓発活動を強力に進めていく。

☆2008年4月実施の後期高齢者医療制度にかかわる陳情書

本陳情書は「後期高齢者医療制度」を凍結・撤回するよう国へ意見書を提出して欲しいというものであったが、主に次のような意見があり、採決の結果、賛成少数により不採択となった。

①問題の多い制度であり、中止は難しいかもしれないが、改善点を含め検討すべきである。
②本市では、後期高齢者医療制度に伴う条例及び予算も審議され市民への説明会も終わっている。

建設経済常任委員会（橋元孝一委員長）

平成19年度曾於市一般会計補正予算や平成20年度曾於市一般会計予算などについて委員会を開き、慎重に審査した結果、議案10件を全会一致で可決すべきものと決定しました。

☆曾於市有住宅及び市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

市有住宅、市営住宅入居者及び周辺住民、市民の生活の安全と平穏を確保するため、国土交通省から公営住宅における暴力団員の排除に係る基本方針が示されたこと

に伴い、これに準じて市有住宅、市営住宅における暴力団員の排除に係る措置を明確化するための改正である。

意見 市民が安全で安心して生活ができる環境づくりに、近隣市町と連携を取りながら取り組まれない。



整備された大川原峡駐車場予定地

☆曾於市農業委員会の設置及び委員定数条例を廃止する条例の制定について

月1回の定例会については、部会方式から総会方式に移行する。

☆指定管理者の指定について（曾於市ゆず搾汁センター）

問 指定先はどこか。

答 指定管理者は、株式会社メセナ食彩センターである。

問 ゆずの買い取り価格は。

答 単価については、先進地を基に行政、食彩センター、同好会で決定する。

☆平成20年度曾於市一般会計予算について（所管分）

問 農業者年金加入促進は。 **答** 今後も加入促進に努めていく。

問 園芸振興事業の育苗センター1廿しよ苗生産委託料は必要か。

答 育苗センターの生産量はパイオ苗20万2,800本、普通苗39万3,400本で、単価は平均6円75銭で販売しているおり農家のために必要な事業である。

問 メセナ住吉交流センター1泉源整備事業の送湯設備工事の内容は。

答 ボーリング工事は7月末に終わり、9月以降に送湯管工事に入り、平成21年2月末までには完成予定となる。

問 有機センター管理運営について、堆肥引き取りの無料はいかがなものか。

答 当初は50戸の受け入れ戸数であったが、現在では100戸以上となっている。大型農家については、自家処理の推進を行っている。

問 国営畑地水源整備事業負担金の繰上償還金の10億4,301万4千円をなぜするのか。

答 この負担金の繰上をすれば、市負担が交付税措置まで見込んで、約2億7,200万円程度軽減になる。

問 屋外広告物許可申請状況はどうなっているか。

答 申請の必要な屋外広告物は、曾於市全体では、426件で、許可済みは133件である。残りについては今後も指導をしていく。



下窪地区貯水タンク（大隅）

☆平成20年度曾於市公共下水道事業特別会計予算について

問 畜産農家の下水道料金はどうなるのか。

答 畜産農家の加入については、飲料水とは別に、牛舎用の水道メーターを自費で取り付けるよう説明している。

☆平成20年度曾於市水道事業会計予算について

問 水道事業啓発助成金は。 **答** 自治会に対し、納入率に応じた報償金である。

意見 市民の日常生活に欠かせない大事な水である。良質かつ安全で安定した水の供給に努められたい。